

## 第5章 雑踏事故の実例

## 雑踏事故の実例

過去の実例によると、日本で一番大きな被害が出たのは、昭和31年の元旦、新潟県の弥彦神社で発生した群衆事故である。このときの死者は124名、負傷者177名であった。これ以外にも、昭和9年1月8日、京都駅の跨線橋で発生した事故（死者77名、負傷者74名）、昭和29年1月2日、皇居の二重橋で発生した事故（死者16名、負傷者30数名）、昭和27年6月18日、日暮里駅の跨線橋で発生した事故（死者6名、負傷者7名）などがある。

これらの事故の共通点は、理由はともあれ局所的に高密度の場所で発生していること、それと関係して発生場所が、階段、ブリッジといった逃げ場のない閉所空間で発生していることである。

他にも雑踏事故は数限りなくあり、昭和51年12月21日、ジャンボ宝くじの発売をめぐって福岡、松本、大阪など全国的に発生した事故、平成2年1月6日、大阪のライブハウスで発生した事故、平成7年12月24日、大阪と札幌の場外馬券売場で発生した事故など枚挙に暇がない。

世界的には1990年7月2日、サウジアラビアの聖地メッカで発生した事故が最大で、死者数は1,426名であった。この事故は巡礼者を通す歩行者用トンネル内（長さ約500メートル、幅20メートル）で発生したもので、トンネル内が停電したためエアコンと照明切れでパニック状態になり、酸素不足と高温が犠牲者を増やす原因となった。

（木下富雄,2002,第155回県下署長会議 講演時配布資料から）

## 過去の死傷者を伴う主な雑踏事件事例（県外）

番号	発生日月	都道府県	行事名	死者	傷者	原因	概要
1	昭29年1月2日	東京	一般参賀	16	64	入場争いで転倒	皇居前広場に身動き出来ないほど集まった群集整理のため、綱により橋への入場規制を行っていたが、人が綱に挟まれ始めたため、綱を緩めた瞬間に、我も我もと二重橋上に群集が押し寄せ転倒したものの。
2	昭31年1月1日	新潟	神社の餅撒き	124	177	餅の奪い合いで転倒	初詣で混雑した神社石段付近において「餅撒き」が行われたことから、これを奪い合う群集が転倒したものの。
3	昭35年3月2日	神奈川	歌謡ショー	12	14	入場争いで転倒	横浜体育館における歌謡ショーで観客が入り付近の入場争いで転倒し、折り重なったものの。
4	昭40年5月10日	鹿児島	歌謡ショー	1 (警察官)	11	割り込みで転倒	鹿児島県体育館における歌謡ショーで、観客9,000人が入場待ちをしていたところ、列外の300人が会場入口に割り込んだことにより、列が乱れ混雑し転倒したものの。
5	昭40年10月22日	福岡	歌謡ショー	1 (警察官)	11	割り込みで転倒	若松文化体育館における歌謡ショーで入場列に割り込み、列が乱れ混雑し転倒したものの。
6	昭42年4月22日	大阪	桜の通り抜け	1	27	殺到して転倒	大阪造幣局の通り抜けにおいて花見客が門内に飛び込むような勢いで殺到し、押されて転倒したものの。
7	昭53年1月27日	北海道	ロックコンサート	1	8	ステージに殺到し転倒	札幌中島スポーツセンターにおける英国ロックバンドグループの公演で、観客5,000人のうち、一部ファンがステージに殺到したため転倒したものの。
8	昭57年10月16日	愛知	歌謡ショー	1	10	殺到して転倒	豊橋市体育館において開催された「青春歌謡スターパレード」で先頭部の400人が殺到したため転倒したものの。
9	昭62年4月19日	東京	ロックコンサート	3	20	ステージ前で團子状態となり転倒	日比谷野外音楽堂でのロックグループの公演において、観客3,000人のうち、一部ファンがステージに駆け寄り、殺到したため前列の観客が団子状態となり転倒したものの。
10	平2年1月6日	大阪	ロックコンサート	1	2	押されて転倒	大阪市北区のライブハウスで行われたロックバンドグループの公演中に、満員(550人)の観客が演奏により興奮状態となり、後方の客が前方の客を押しだしたため転倒したものの。

## 過去の死傷者を伴う主な雑踏事件事例（県内）

番号	発生年月日	管轄署	行事名	死者	傷者	原因	概要
1	昭54年3月29日	甲子園	選抜高校野球大会	2	0	殺到して転倒	第51回選抜高校野球大会の大会3日目、甲子園球場正面内野席入場券売場前に多数の観客が整列、後列の者が入場券の発売を開始したものと勘違いし、我先にと窓口に殺到したため、前列の20人が転倒したもの。
2	昭58年6月4日	甲子園	ヤングアイドル野球大会	1	9	車にファンが殺到し転倒	ヤングアイドル野球大会終了後、帰宅中のファンの一部が国道43号線に駐車しているワゴン車に人気タレントが乗車しているものと勘違いし、「キャー」と叫びながら車両に接近、これに呼応するようにファン数十名が殺到し転倒したもの。

注 雑踏事故そのものではないが、雑踏警備に関連した事件として、神戸まつりに際し、新聞記者が暴徒化した群集に車両で轢過され死亡するという事件がある。（昭和51年5月15日）